

研究課題(テーマ)		企業人や研究者の特別講義による学生のキャリア形成支援	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	小柳健一
研究結果の概要			
<p>「企業経営概論」において、企業や官庁で活躍されている方々を講師として招き、世の中の動きや経験、社会人になる前に身につけておくべき重要事項を講義していただいた。また、「知能ロボット工学特別講義1」等において、学外の著名な学者や新しく注目されている分野で活躍中の研究者など、主に他大学の教員や各種研究機関の研究者を招いて講義をしていただいた。これらを通じて、本学科の専門科目を取得しただけでは不十分な分野についての技術動向を学習し、学生自身のキャリアの確立、職業観形成を助けることを目指した。また、学科名称に「ロボット」を冠していることから、学部生および院生に対して、ロボットに関連する企業について考える機会を提供した。</p> <p>様々な分野で本学科の卒業生が活躍しうることを学生に伝え、すでに富山県機電工業会と連携して実施している「知能ロボット工学特別講義2(3年次後期)」の受講増につなげる意図があった。R5年度は受講増につながらなかったが、「知能ロボット特別講義1」が2年次後期、「企業経営概論」が3年次後期の科目であるため、実際の効果が表れるのは次年度(R6年度)になると思われる。</p> <p>一方で、大学院への進学者数は30名(入学者29名)と定員を大きく超えており、さらなる学習や大学院進学への意欲は既に高いことが分かる。次年度以降もそれが維持されることが期待できる。実際、2月にR6年度卒業予定者が回答した進路アンケートでは、58人中30人がほぼ進学するつもりと回答した。</p>			
今後の展開			
R5年度と同様に企業経営概論や特別講義1・2による取り組みを続ける。新カリキュラム移行後は、キャリアアップ特別講義と知能ロボット工学特別講義にて、同様に続ける。			